

回その差額を補正計上した。現在、申請の3分の1を処理した。残りは書類の不備や検査に時間がかかり滞っているが、可能な限り急ぎたい。

観光復興イベントは

〈桐原議員〉

今回、1千万円が計上されているが、その計画内容は。

〈企画観光課長〉

4月16日の熊本地震の記憶を忘れぬよう、村内外のクリエイターが南阿蘇村の映像作品を制作する。村と観光協会、商工会、観光復興プロジェクト推進協議会が主体となる。

〈太田議員〉

地方創生加速化交付金の事業主体と変わらない気がする。補助金頼みで、事業目的や使い道が明確ではないようだが、問題ないのか。

〈企画観光課長〉

今回は、グループ補助金に手を挙げた68社が南阿蘇村観光復興プロジェクト交流協議会を組織した。

ここが事業主体となるので、加速化交付金の事業団体であるPR実行委員会とは異なるので問題ない。

仮設住宅に物置を設置

〈橋本議員〉

仮設住宅物置設置工事に、416万2千円が計上されているが、その内容を。

〈建設課長〉

仮設住宅各戸に1個ずつ、高さ184cm×幅80cm×奥行75cmの物置を設置する。

野焼きの今後は

〈松岡議員〉

熊本地震で原野も随分と傷んだ。今後、野焼きが継続できない地域も出てくるのではないかと。



野焼きの実施が危ぶまれる夜峰山

〈農政課長〉

区長会で2回ほど話し合いを行った。久木野地区は概ね実施が可能。しかし、白水地区と長陽地区は、牧野に亀裂が入っていたりと危険な状態で中止する意見もある。それぞれの地区の牧野組合とも協議し、対応を決めたい。

久木野地区村有地の廃土問題は

〈太田議員〉

グリーンピア東側村有地に、災害復旧工事が出た土を廃土していると聞いたが、その内容は。

〈建設課長〉

現在、国土交通省が阿蘇大橋の工事を進めている。その現場で出る土の廃土を村内で確保できないか相談があった。随分探したが、適当な場所がなく、グリーンピア東側村有地を国土交通省に紹介した。地元区長には連絡していたが、早急に廃土したいとの意向で運搬が始まった。



土砂を捨てられた村有地

遅ればせながら住民説明会を開いたが、住宅の上に位置する村有地に廃土する事を心配する声が多かった。

再度、国交省とも協議し、その場所での廃土は中止し、これまでの土砂は撤去するよう調整している。地域住民へは後日、結果報告したい。

〈太田議員〉

久木野地区の多くは、土砂災害危険地域、いわゆるレッド・イエローゾーンだ。そこへの廃土で安全性が確保できるのか。急ぐ理由も理解できるが、地域住民への懇切丁寧な説明は事前に必要だ。政策決定の不透明さが村民に不信を与える。村民の安心、安全を守る為に、国に物を申す事も必要だ。

その他の質問

〈太田議員〉

・ 高等学校への通学支援を県の復興基金へ要望しては

〈笠野議員〉

・ 就学援助費の内訳は
・ 仮設住宅に、洗濯乾燥機を

〈松岡議員〉

・ 菊池市環境保全協力金とは

〈橋本議員〉

・ 職員は、被災者対応時の言葉使いに配慮を

〈山室議員〉

・ 中越地震の新潟県のように、復興基金を原資に利益運用益を活用できないか